

在日コリアンと多文化共生

京都と大阪のコリアンタウンの2つの新しい施設で現地研修する機会をいただきました。

「ウトロ平和祈念館」は、日本と調整半島、在日コリアンの歴史、そしてさまざまな苦難を乗り越え共に歩んできた日韓市民の思いを伝えて未来へとつないでいくための記念館として2022年にオープンしました。「いくのコーライズパーク」は、「生野区を誰もが暮らしやすい全国ナンバー1のグローバルタウンへ！」を理念に旧大阪市立御幸森小学校跡地を活用して多文化共生のまちづくりを進める拠点施設として2023年にオープンしました。

在日コリアンの多くは、日本統治時代（1910年から1945年）に朝鮮半島から日本に渡ってきた人々や、戦後に朝鮮半島から日本に残った人々の子孫ですので日本生まれであり、日本社会で育ちました。一部が日本国籍を持っている一方で、多くは朝鮮半島の国籍を有しています。戦後、日本国籍を選択することもできましたが、取得は難しく、また一部は朝鮮半島の出身者としてのアイデンティティを保ち、日本国籍を取得していないケースもあります。そういった歴史的な背景や国籍の違いからくる差別や偏見に直面してきましたが、近年では多様な文化を受け入れる風潮も広がりつつあります。在日コリアンと地域社会が協力して様々なプロジェクトやイベントを行うことで、相互理解と交流が促進されます。地域住民と在日コリアンのコミュニケーションが増えることで、偏見が解消され、共生が進むことが期待されています。地域の住民、行政、NGO、在日コリアンの団体などが協力して多文化共生を推進することが大切であり、その拠点施設を見学できたことは大変有意義だったと思います。

b y ひろりん

